

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年 2月 7日

事業所名: こどもプラス加古川教室

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	総面積149㎡を要し、運動スペース(78㎡)や多目的スペース(15㎡)など療育目的に応じ、パーテーション等を利用しながら適切なスペースを確保しております。	はい-45 どちらともいえない-0 いいえ-0 わからない-1 ・スペース確保されています ・いついっても清潔感があり安心して過ごせる、活動できるスペースです。 ・広いので走ったりと体を動かさせて子供も楽しそうです。 ・子どもの更衣室の環境を整えてほしい。個室はあるが鍵がかからないので。 ・急にドアを開けられる不安がある。パーテーションでは倒れる暇かされる。 ・運動もできる安全で広いスペースがあるのでのびのびと活動できそう。 ・つまずいても大丈夫な頑丈なマットが敷き詰められていて子どもが思う存分自由に過ごせる空間になっています	感染等対策を講じながら、保護者参加の運動会、夏祭り、秋祭りなどの行事を開催し、保護者の方に来所して頂く機会を設け、実際の広さを実感して頂けるようにしていきます。 日頃更衣することがないため、必要のある方のみ相談室を利用しております。相談室は施錠の必要がないため、鍵は設けておりません。ご利用時は、「空室」「使用中」の掲示により視覚的に表示します。
	2 職員の適切な配置	人員配置基準の遵守はもとより、より専門性を高める人員配置を行っています。心の発達への支援を中心に、精神科勤務経験のある看護師や精神保健福祉士。公認心理師・保育士・社会福祉士など、多職種が多方面からより良い支援を検討し実施しております。	はい-40 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-5 ・人数配置が充分です ・看護師、心理士、保育士、教員免許、運動が得意な先生など専門性にとってもたけている。 ・色々な専門職の先生がたくさんおられるので安心していきます	専門職員の配置および医療ケアに対応する職員配置を行っています。 また、各職員の知識を結集しミーティングや研修を重ね療育方法を個別に検討しております。様々な専門知識や経験を活かし、現職員の対応力を高め、様々なケースに最良の療育を目指していきます。 今後、お便りやホームページを活用しながら、周知していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	車いす対応の広いトイレをはじめ、完全バリアフリー化の教室です。運動しやすい広さのスペースとパーテーション等を利用し多目的に個別スペースを作るなど、状況に応じ変化させています。また、ホワイトボードに本日のスケジュールを掲示し、始まりの会に利用児童に案内しています。	はい-43 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-2 ・相手が通れるスペースが確保されています ・大きなパネル、カウントダウンができるデジタル時計で、常に子供が動きやすく、ルールを守れるように(自然と)配慮してあり、とても参考になります。 ・不安がある。今はトイレで着替えるのが一番安心なようだが衛生面が気になるのでかごなどを置いて頂きたい。 ・空間は仕切られており活動時に本などが目に入らないようになっている。 ・行事の準備で1度の利用で完成出来ない事柄については壁に進捗状況が入れられるファイルがあり、子ども達と先生でやりとりしているプリントがどんどん更新されていました。	シンプルかつ解りやすい掲示や情報伝達を行い、個々の特性をしっかりと捉え、その子に合った環境を整備していきます。また、衛生面にも、更に配慮いたします。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日の掃除は当然の上、共有するものを少なくし、ペーパータオルなどを使用して清潔を保っています。子ども達がリラックスできるよう、広い空間と狭い空間を取り混ぜ状況に応じ安心できる空間を確保しています。	はい-42 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-0 ・清潔感あります ・いつ行っても清潔感があり安心して過ごせる、活動できるスペースです ・家でも参考にしてみたいと思う空間作りがしっかり出来ていると感じました。	感染防止の対応に準じ、衛生用品の確保および清掃方法など、看護師を中心に徹底し感染防止に努めています。また、看護師による指導のもと、利用児童も含め認識の向上を図っています
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日のミーティング時に、利用者の状況と本日の目標と支援について話し合い、活発な意見交換を行っています。		今後も推進していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在、外部評価は実施しておりません。		今後実施に向けて検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修及び社外研修にも積極的に参加しています。特に資質向上のため、毎日ミーティングを行い共通理解を深めています。		今後も推進していきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の観察・情報収集と、保護者の方と面談を行いそこから得た情報も含めたニーズや課題を分析し、計画を作成しています。また子供の状態に合わせて適切な時期に計画をそのつど作成しています。	はい-45 どちらともいえない-0 いいえ-0 わからない-1 ・きちんと連携取れています。対策内容もわかるようになっています。	今後も、利用児童に応じた計画を立案し、より具体的な内容の記載を行っていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの変化を見落とさずに、その子どもに合う状況に応じた個別活動と集団活動(例:運動、コミュニケーション活動、SSTなど)を行い、計画をしています。		今後も、利用児童に応じた計画を立案し、より具体的な内容の記載を行っていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもたちが今困っていることや課題、また成長するために必要なことなどを考えて記載しています。また具体的に何が必要かなどを考慮して記載しています。	はい-43 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-2	今後も、利用児童に応じた必要な項目の設定と具体的な支援内容を立案していきます。
4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	毎日のミーティングの中では、前回はこんな状態であった。そのため今日はこのように計画に沿って支援しようと話し合っています。そのため各一人づつに合わせた計画に沿った支援の実施を行っています。	はい-43 どちらともいえない-2 いいえ-0 わからない-1 ・見やすくわかりやすいです。	今後も、利用児童に応じた適切な支援の実行を行っていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	5 チーム全体での活動プログラムの立案	運動は運動保育士を中心に、コミュニケーションや心のケアは看護師、公認心理師、精神保健福祉士、保育士などが中心に、1つのチームで検討し活動プログラムの立案および実施しています。		今後も、利用児童に応じた活動プログラムを立案していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は、時間が短くとも運動と学習を集中して行い、休日や長期休暇には、自己決定と個性をより重んじる支援を行っています。平日及び休日を問わず、心のケアに気を配っています。		今後も、利用者の特性に応じたきめ細かな支援をしていきます。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月間カレンダーにより活動プログラムを作成し、毎日担当者を変えながら、固定化しないようにしています。また運動・医療知識・手話・絵本読み・音楽・創作活動・料理など、職員の得意な分野での活動も行い工夫をしています。	はい-46 どちらともいえない-0 いいえ-0 わからない-0 ・楽しいプログラム満足されます。 ・一ヶ月のプログラムが毎月カレンダーでいただけるので、子供が「今日はなんだろう?」と楽しみにプログラムの変化についていけています。 ・様々なことにチャレンジできて良い経験になります。 ・とても楽しんでいます。 ・毎回色々なプログラムで秋祭りなどの大きなイベントもあり、楽しんでいます ・毎週変わっていくプログラムを本人達も楽しみにしています。冷蔵庫に貼って置けるように見易いカレンダーにして毎月の活動プログラムを頂いています。	今後も、より楽しく利用者が参加できるプログラムを意識し、利用者主体の活動プログラムを実施します。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日の職員間でのミーティングでは、利用者の詳細な状況や、当日の支援内容及び役割分担について具体的に話し合い、確認の上徹底して支援に臨んでいます		情報収集にも気を配り、今後も継続します。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後、経過記録記入時に、振り返りと情報の共有を行っている。		今後も継続します。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援について実際に起きた事象を、正確に記録することを日々徹底しています。また支援の検証・改善の継続については、支援終了時やミーティング時などで話し合い継続実施をおこなっています。		今後も継続します。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは面談という形で、自宅訪問または教室内で実施し、計画・計画の見直しを行っています。また個別に必要である場合は、そのつど計画の見直しを行っています。		今後も継続します。
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	担当者会議には、必ず出席するようにしています。		子どもの状況の把握の為、病院受診時に同行する等、医療的情報の獲得や医療連携に努めています。担当者会議は、利用児童の多くの情報と支援の方向性が見えてくるので、積極的に参加します。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアの必要な子どもを支援するにあたり、支援学校の看護師と当事業所の看護師間で密な情報交換をするとともに、支援方法の共有徹底を行いました。学校での当日の状況も送迎時、看護師が同乗し、直接、教員及び看護師と情報共有をしています。		密な情報共有を継続します。
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子どもの支援するにあたり、保護者を介し、主治医の指示書取得や連絡体制の構築を行いました。		密な情報共有を継続します。
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童発達支援事業は行っていません。		
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当者なし		該当者があった場合、十分な情報提供を行います。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	病院や療育センターなど専門機関に保護者・利用者が受診する際に同行し、医師や専門職との連携を積極的に行っています。また専門機関での研修にも積極的に受講しています。		今後も継続します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流は行えていません。 例年、芸術祭や、夏祭りなどの行事に際し、家族やお友達家族等との交流を行っています。	はい-8 どちらともいえない-4 いいえ-11 わからない-19 ・学校などで交流できる事があるので本人は楽しんでます。	芸術祭や、夏祭りなどの行事に際し、家族やお友達家族等との交流を感染対策を講じながら機会の創出を再開しております。また、教室外での一般参加イベントを開催しており、今後も開催予定です。近隣地域の住民等との交流の機会や、公共イベントへの参加など、模索していきます。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	実施していません		保護者の中には、親戚や近所にも障害について知られたくない方もおられ、慎重に行う必要があります。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	重要事項説明書により、丁寧に説明しています。また、報酬改定など変更時も書類により説明し、確認署名を頂いています。また、保護者来室時や送迎時に説明しています。	はい-45 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-0 ・きちんとしています ・毎回利用時の様子を、プログラム・おやつの内容まで細やかに記入していただいて、日々の子供たちの様子を、書く欄もあるので毎度共有することができています。	今後も、都度丁寧にお伝えします。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時などにより、説明を行っています。	はい-45 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-0 ・わかる様にしています	今後も、都度丁寧にお伝えします。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングは現在行っていませんが、保護者の対応力の向上を図るため、連絡帳による相談や、電話及び訪問相談に応じて支援しています。	はい-21 どちらともいえない-11 いいえ-4 わからない-10 ・断言できない所もあります ・保護者交流会に昨年は参加できず残念でした。今年は参加したいです。 ・相談にのって頂いていたりしている。	今後、保護者会の開催とともに、ペアレントトレーニングや研修会等を開催し、支援の機会を設けていきます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの状況を捉え、都度、送迎時や連絡帳、電話などを通じて、保護者との共通理解を徹底しています。	はい-42 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-0 ・課題もたまに書くのに少し悩みます。 ・毎回利用時の様子を、プログラム・おやつの内容まで細やかに記入していただいて、日々の子供たちの様子を、書く欄もあるので毎度共有することができています。 ・成長とともに課題(学習面・精神面・生活面)が多く、共有することが難しくなっています。 ・ノートに困りごとを書いたら毎回丁寧に答えてくださる。 ・いつも関わる先生が一緒ではないので、毎度もらえる連絡ノートの内容も先生の個性が様々で、それを読んで様子がしっかり理解することが出来ています。	今後も、徹底します。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	子どもの変化を捉え、保護者への悩みの問い合わせや、保護者からの相談に都度対応及び助言を実施しています。	はい-37 どちらともいえない-7 いいえ-0 わからない-2 ・きちんとされてます。 ・毎回利用時の様子を、プログラム・おやつの内容まで細やかに記入していただいて、日々の子供たちの様子を、書く欄もあるので毎度共有することができています。 ・自我が芽生えてきているので、接し方に困ることが多くなってきています。相談できる回数が増やせたらいいと思います。 ・困った時にはいつもアドバイスを頂いています ・子どももどんなことがあったかなー？と振り返って説明の仕方を学ぶのにとっても役立っています。	今後も、継続します。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会において、「福祉制度」の説明や、「リフレーミング」について研修やグループワークによる実践を行い好評でした。今後も実施していきます。	はい-24 どちらともいえない-9 いいえ-6 わからない-7 ・時間があれば参加したいです ・数回あればありがたいです。初めての交流会時は話せないことも多いと思います。 ・保護者会の計画が復活して楽しみです。 ・来年楽しみにしています。	参加しやすい場の提供と保護者支援や専門性のある助言や研修を実施します。また、保護者間の交流を目的とした茶話会やアロマ教室など楽しめる場を企画していきます。また、ビデオ会議方式やビデオ研修を利用していきます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情があった場合、苦情マニュアルに基づき真摯に対応します。	はい-36 どちらともいえない-2 いいえ-0 わからない-8 ・苦情を伝えることが1年ありませんでした。 ・苦情を伝えるようなことはなく、少しのケガでも必ず連絡を下され、その時の処置も迅速にして下さるので、本人も不安なく過ごすことが出来ています	迅速かつ適切な対応をします。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々の状況に応じ、最善の方法と配慮に心がけ対応します。	はい-42 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-3 ・されているとおもわれます ・子供が学校であった出来事、困っていることを一週間のうちに、2回伝えることができるので、音楽会の練習で苦戦しているわが子の気持ちを送迎時に変化を細取っていただいて、とても励ましていただきました。 ・子どもの様子を毎回連絡ノートで伝えることが出来るので、配慮して頂いていることを実感しています。	今後も、配慮します。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、行事予定や会報を発行し情報発信しています。会報の内容は、プログラム内容の結果や写真、イベント情報や感染予防など、その時々に必要な情報や児童に読み聞かせしている絵本特集など。	はい-43 どちらともいえない-1 いいえ-1 わからない-1 ・緊急や日頃の連絡などきちんとされていとも助かります ・毎月、お便りをいただいています。普段は、ノートに載せられない活動内容の写真を添付しており、子供も楽しみにしています。 ・毎月予定や行事を分かりやすく発行して下さっている。 ・毎月のお便りでノートに載せきれない情報を発信してもらえるので、親子で見ると楽しんでしています	今後も、継続します。 今後、電子化によりクラウドによるシステム化を予定しております

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報については細心の注意を払っています。	はい-44 どちらともいえない-2 いいえ-0 わからない-2 ・されています	今後も、継続します。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	対応マニュアルの策定は行っています。周知徹底に関しては、保護者会等にて説明しております。	はい-35 どちらともいえない-4 いいえ-1 わからない-6 ・見やすくされています	今後も、説明の機会を増やしていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎年、12月と3月に実施。火災、地震、津波など様々な想定で実施。	はい-38 どちらともいえない-1 いいえ-0 わからない-7 ・訓練は絶対に練習すべきだとおもいます！	今後、開催日時などを12月と3月の行事予定に明記します。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	研修会を実施するとともに、職員間相互の意識向上を図っています。		今後も、継続します。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	病院勤務の経験から、拘束については特に気を配り、職員相互間の行動認識を高めるようにしています。また、保護者には契約時に十分説明し身体拘束がおきないよう事前に対処しています。現在まで身体拘束は一度もありません。		今後も、継続します。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時、保護者から書面にて確認しています。		今後も、継続します。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット記録を作成し、毎日のミーティング時に情報提供、意見交換、解決策などを、全員で行い、徹底しています。		今後も、継続します。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	ひとり一人が自分の判断で決定することを尊重し、運動、工作、絵画、勉強、などの得意なことをひきのばすよう支援しています。楽しく通っていただくことが一番大切な事と認識しています。	はい-41 どちらともいえない-4 いいえ-0 わからない-1 ・自分で曜日を選んだりしています。 ・とても楽しみにしています ・毎回とても楽しみにしています。 ・広いので加古川教室が好きなようです。 ・イベント大好きです。 ・毎回とても楽しみにしています	感情の起伏など、障害特性に応じ楽しんで通所できるよう日々検討していきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	子ども達の状況や、家族の方の不安や思いをしっかりと受け止め支援をしています。	はい-46 どちらともいえない-0 いいえ-0 わからない-0 ・とても満足です。 ・いつもありがとうございます。 ・とても満足しています。 ・様々なプログラムに満足です。 ・なかなか運動プログラムに参加出来ていないようだが、強制的に参加させるのではなく本人の思いを聞いて頂き、させて頂けることに感謝しています。ありがとうございます。 ・連絡ノート、記載内容を谷先生以外の先生も確認して下さるようになったので大事な内容を書いていたときは安心しました。 ・とても満足しています	誰もが相談しやすく、子どもたちの現在および将来において「いきづらさ」を支援していけるよう、本人および家族の方に寄り添っていきます。